

プロジェクト進捗管理シート

方針1 「貢献」と「自立」の経済構造への転換

1 次世代産業創出プロジェクト

～技術集積と起業家精神を基礎とした次世代産業の創出～

総括マネージャー

産業労働部長

目 標

長野県の誇る高度な技術の集積、信州人の持つ起業家精神を基礎に、健康長寿や自然環境など地域の強みや資源を活かし、成長が見込まれる分野への積極的な展開や創業しやすい環境づくりなどを推進することにより、次世代の長野県経済を担う産業の創出をめざします。

総 合 分 析

技術集積と起業家精神を基礎とした次世代産業の創出をめざし、3つのアクションによりプロジェクトを推進しました。

達成目標3項目のうち、一人当たりの県民所得は、実績値はありませんが、公表されている最新の統計である平成23年度の数値によると、2,730千円で全国22位となっています。前年度より順位が下がっているものの、2年連続で国民所得を上回っており、さらに、目標としている10位との差は、平成15年度は313千円であったのに対し、平成23年度は190千円と縮小しています。

残りの2項目は「順調」に進捗しています。

企業誘致件数については、景気の回復基調に加え、ターゲットを絞った企業訪問、研究開発や人材育成等を行う大学などの関係機関と連動した誘致活動の展開などの取組により44件となっており、順調に推移しています。

創業支援資金利用件数は、より利用しやすくするために、原則、借入希望額と同額の自己資金要件を撤廃（1,000万円まで）する等貸付条件の緩和を行ったことにより、件数が伸びています。

～プロジェクト推進に向けての課題と今後の方向性～

成熟期にある国内経済や人口減少下において国内需要の大幅な伸びは期待できず、また、アジア新興国などとの競争が激しくなる中で、県内企業の強みを活かし、付加価値が高く、成長期待分野である健康・医療、環境・エネルギー、次世代交通への積極的な展開や創業しやすい環境づくりの推進などにより、次世代の長野県経済を担う産業を創出していくことが必要です。

このため、付加価値の高い食品づくりを支援する「しあわせ信州食品開発センター」の整備や医療・福祉分野進出のための研究開発支援、県内企業の競争力向上のための専門家による販路開拓支援などを行います。

また、ターゲットを絞った企業訪問や研究開発、人材育成等を行う大学などの関係機関と連動した企業誘致活動の展開、創業・ベンチャー推進員の配置による潜在的な創業希望者の掘り起こしやきめ細かな支援を行います。

さらに、県内産業界が求める高度な技能・技術を持った人材を継続的に輩出するための南信工科短期大学設置に向けての取組、学生のUターンを促進するための合同企業説明会や大学の就職担当者と企業との情報交換会を実施します。

達成目標の進捗状況

※進捗区分 ○順調:目安値以上 ○概ね順調:80%以上100%未満の進捗
 ○努力を要する:80%未満の進捗 ○実績値なし:今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)

| 指標名 | 年度 | 単位 | 基準値 (H21) | H25 | H26 | H27 | H28 | 目標 (H29) |
|--|-------------|---|--------------|-------|-----|-------|-------|-------------|
| 一人当たりの県民所得 (全国順位) | 目安値 | 位 | | — | — | — | — | 10位以内 |
| | 実績値 | | 21 (13) | — | | | | |
| | 進捗区分 | | | 実績値なし | | | | |
| | 進捗状況の 分析 | 実績値はありませんが、公表されている最新の統計である平成23年度の実績によると、2,730千円で全国22位となっています。 しかしながら、目標である10位との差は、平成15年度は313千円であったのに対し、平成23年度は190千円と縮小しています。 ※ H21年度基準値は、H22年度分の算定から計算方法が変更されたことに伴い、順位が13位から21位に変更 | | | | | | |
| 【目標設定理由】 現状を上回る順位を目標として設定 | 今後の取組 | しあわせ信州食品開発センターの設置や成長期待分野の展示会への出展を行うことにより産業の高付加価値化を進めます。 | | | | | | |
| 【関連アクション】 アクション1, 2, 3 | | | | | | | | |
| 指標名 | 年度 | 単位 | 基準値 (H23) | H25 | H26 | H27 | H28 | 目標 (H29) |
| 創業支援資金利用件数 | 目安値 | 件 | | 480 | 960 | 1,440 | 1,920 | 2,400 |
| | 実績値 | | 376 | 657 | | | | |
| | 進捗区分 | | | 順調 | | | | |
| | 進捗状況の 分析 | 平成24年度に新規開業予定者については、原則、借入希望額と同額の自己資金要件を撤廃(1,000万円まで)する等貸付条件を緩和し、実績は順調に推移しています。 | | | | | | |
| 【目標設定理由】 直近の保証件数を参考に約3割の増加を目標に設定 | 今後の取組 | 引き続き、金融機関やながの創業サポートオフィス等、関係機関の窓口で資金に関する利用方法の周知を図るとともに、利用の円滑化を目指します。 | | | | | | |
| 【関連アクション】 アクション2 | | | | | | | | |
| 指標名 | 暦年 | 単位 | 基準値 (H23) | H25 | H26 | H27 | H28 | 目標 (H29) |
| 企業誘致件数 | 目安値 | 件 | | 40 | 80 | 120 | 160 | 200 |
| | 実績値 | | 34 | 44 | | | | |
| | 進捗区分 | | | 順調 | | | | |
| | 進捗状況の 分析 | 市町村等と連携した積極的な企業誘致活動により、電気業(太陽光発電施設)を中心とした立地が増加するなど、実績は順調に推移しています。 | | | | | | |
| 【目標設定理由】 リーマン・ショック前の年間立地件数の水準を参考に設定 | 今後の取組 | 引き続き、成長期待分野を重点とした企業誘致活動を積極的に行います。具体的には、「健康・医療」、「環境・エネルギー」、「次世代交通」の3分野にターゲットを絞った企業訪問や、研究開発、人材育成等を行う大学等の関係機関と連動した誘致活動を展開します。 また、市町村等との情報の共有を一層進め、協同して現地を案内するなど連携を図りながら、企業立地の推進、雇用の創出等に取り組んでいきます。 | | | | | | |
| 【関連アクション】 アクション2 | | | | | | | | |

**アクション
1**

(成長期待分野への展開支援)

大学等研究機関や企業等との連携を強化し、国内外の需要を取り込むことなどにより、県内産業の成長期待分野（健康・医療、環境・エネルギー、サービス産業など）への展開を支援します。

【アクションの進捗状況】

公益財団法人長野県中小企業振興センターなどの関係機関と連携しながら、国内外の展示商談会への出展やキャラバン隊による県外メーカーの訪問等を通じて市場ニーズを把握し、県内中小企業の販路開拓を支援しています。

工業技術総合センターに最新鋭、高精度の測定・分析評価・開発支援機器を整備するとともに、食品の試作、評価を一体的に行う「しあわせ信州食品開発センター」の整備に向けた取り組みを始めるなど、成長期待分野に関する積極的な支援を行っています。

主な成果

●中小企業の販路開拓支援

中小企業の受発注取引を促進するとともに、国内外の展示商談会を通じて販路開拓支援を実施

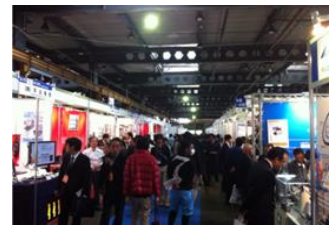
- ・受発注取引相談件数 25年度目標 2,800件 → 実績 3,608件
 - ・食品商談件数 25年度目標 940件 → 実績 1,338件
 - ・海外商談件数 25年度目標 100件 → 実績 258件
 - ・国内販路開拓商談件数 25年度目標 1,200件 → 実績 2,071件
- など

●国内最大級の工業展である「諏訪圏工業メッセ」を支援

**H25年度目標
商談件数1,200件**

実績:1,494件

- 期間 10月17日（木）～19日（土）
- 出展 519ブース（334社・団体）
- 来場 26,056名
- 特長 テーマゾーン（健康医療、環境エネルギー、次世代交通等）・海外交流ゾーンの設置、各企業の高い技術力をPRするための「ひとわざ（一技）PRシート」の作成とプレゼンテーションの実施



会場撮影:2013 諏訪圏工業メッセ

●工業技術総合センターの機能を強化

最新鋭・高精度の測定・分析評価・開発支援機器18機種導入（H25年度）



高解像マイクロフォーカスX線検査装置

「しあわせ信州食品開発センター」の整備（H27年4月オープン予定）



テイスティング棟のイメージ

●世界の水問題に貢献するアクア・イノベーション拠点形成の取組

オールジャパン体制の産学官連携により水浄化プロジェクト
をスタート (H25年11月～)
(中核施設を信州大学長野 (工学) キャンパスに整備中)



プロジェクト中核施設「信州大学国際科学イノベーションセンター」
イメージ(H27年3月完成予定)

アクション 2

(戦略的企業誘致と創業促進)

次世代を担う産業集積を進めるため、戦略的な企業誘致や「日本一創業しやすい環境づくり」に取り組みます。

【アクションの進捗状況】

積極的な企業誘致活動により県内の企業立地件数は増加しており、県営日滝原産業団地では全区画への入居が決定するなど、企業誘致は順調に推移しています。
また、ながの創業サポートオフィスにおいて、女性、若者、シニアそれぞれの創業相談強化月間を設定するほか、Facebookを活用して、創業セミナーなどのイベント情報の発信等を行い、「日本一創業しやすい環境づくり」を進めています。

主な成果

●戦略的な企業誘致

今後成長が見込まれる産業分野を中心とする企業誘致活動や企業立地支援策、航空宇宙産業の集積支援等により県内産業の空洞化防止及び産業集積形成を推進

- ・ 企業誘致件数 25年度目標40件 → 実績44件
- ・ 県営日滝原産業団地分譲 25年度目標3件 → 実績 3件
 - 平成9年度 分譲開始
分譲総面積26.7ha
 - 平成25年度 全19区画 入居企業決定
分譲18件、貸付1件



県営日滝原産業団地

●国際戦略総合特区

「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」への参画

航空宇宙産業の一大集積地形成を目指して愛知、岐阜、三重地域が指定を受けている本特区に、長野県が参画するための取組を実施

- ・ 「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区推進協議会」へ参加【H26年2月18日】
県内6自治体 (長野県、飯田市、松川町、高森町、喬木村、豊丘村)
飯田下伊那地域の企業34社

→平成26年6月26日に国の指定を受け本特区への参画が実現

- ・ 航空機産業における特殊工程を行うための貸工場整備を支援
実施主体：公益財団法人南信州・飯田産業センター



貸工場の完成予想図

●「日本一創業しやすい環境づくり」

創業の意識を高め、潜在的な創業希望者の掘り起こしを行い、多様な創業スタイルを支援

●ながの創業サポートオフィス

助言・相談をワンストップで実施。創業前から創業後まで総合的にサポート

・相談件数106件【25年度実績】

・相談強化月間 女性（3回）・若者（1回）・シニア（1回）【25年度実績】

●創業セミナー等の開催

創業のポイントを学ぶとともに、創業意識を醸成

・創業塾（2回）参加者数89名 ・創業セミナー等（11回）参加者数792名【25年度実績】

アクション 3

（産業人材の育成・確保強化）

県外から次世代産業の中心となる人材を招くとともに、職業能力開発の体制を整備することにより、産業人材づくりを進めます。

【アクションの進捗状況】

工科短期大学校や技術専門校の訓練に必要な機器を整備し、若年者や在職者、離職者等の能力開発の機会を提供しています。

また、県内産業界のニーズに対応した高度な技能・技術を持った人材を継続的に輩出するため、南信工科短期大学校の設置に向けた取組を進めています。

学生に対する合同企業説明会や親子就職セミナーの開催などにより、学生のUターンを支援し人材確保を図っています。

主な成果

●長野県南信工科短期大学校の設置を決定

高度な技能・技術を持った人材を県内全域に継続的に輩出するため、長野県工科短期大学校に加え、長野県南信工科短期大学校を新たに設置（28年4月開校予定）

●県外学生のUターン就職を後押し

県外大学等を卒業後、長野県に戻って就職を希望する学生に対して県内企業とのマッチング機会を提供

・三大都市圏等での合同企業説明会

（25年度実績）参加数 県内企業：190社 学生：358名

・大学とのUターン就職促進協定の締結

（25年度実績）協定締結校11校（H22 3校 → H25 11校）

